

日時 令和元年8月7日(水)午後2時より

会場 昭島市公民館 第2会議室

出席 菅沼(小金井市)、久米(小平市)、佐藤(日野市)横山(狛江市)
森田・宮鍋(東大和市)、伊東(顧問)、小笠原(研修担当)
遠藤・渡辺・小松(昭島市)

1 開会

本日館長は不在。

〈町田市の職員の紹介〉

来年度の研究大会の事務局である町田市の生涯学習センターの大野さんに自己紹介をしていただいた。

2 大会開催要項について

(1) 大会名：第56回東京都公民館研究大会

〈メインテーマ〉

「公民館の役割、再発見～新たな広がりをめざして～」で前回決定したことを確認。

〈開催要項・案(別紙)〉

前回の資料とそれほど変更はないが、前回意見を頂いた表現に関しては「社会教育行政を後退させる恐れがある」に変更した。これに加えて、「今後、行政の動向を注視していく必要があります」という文章を付け加えた。

〈意見〉

「社会教育施設を教育委員会から…」という部分を「社会教育施設の所管を」に変えた方がいいのではないかと。

→社会教育施設を所管しているのは教育委員会なので、所管という言葉があった方がより正確になる。「所管を」という言葉を加えることに。

(2) 全体会(基調講演)について

講師候補：日本女子大学の田中雅文さん

福生で研究大会をやった際も助言者として来ていただいたことがある。今回のテーマともあっているので事務局としては田中さんで進めていきたいと考えている。

《田中さんについて出た情報》

去年あたりまで小平で公運審をしていた方。今は国分寺で公運審をしている。何回か講演を聞いたことがあるが間違いはない。西東京市ではボランティア論で地域デビューを考えるとといったようなテーマで1回話をしていただいた。

→特に意見がなかったため、田中さんで決定

(3) 各課題別集会テーマ・内容等について

本日の配布資料のA3で開催内容未記入のものについて

今後この表に内容を記入していく必要がある。今後の事務手続きの中で講演依頼などするときにある程度の概要が必要なので、できれば次回9/4の会議までに分かっている範囲の内容を報告していただきたい。

〈各市の途中経過報告〉

東大和市

講師候補：東京学芸大学の柴田彩千子准教授

内容：公民館の設立経緯、また指定管理が増える中で、なぜ直営でなくてはいけな
いのかななどをグループワークを通して話し合ってもらおう。また、それぞれの考える
公民館像についてグループごと発表していただき、最後公民館のこれからについて
講評をしてもらおう。柴田先生には、公民館の理念や今後の公民館の可能性について
話してもらおう。ただ内容に関しては若干変わる可能性あり。

委員部会

講師候補：学芸大の倉持先生

内容：昨年テーマ「公民館講座受講後の展開～学びを生かして活動するには～」
のパートⅡで進めていく。また明日、内容について打ち合わせをする。
次々回の10/15に大体のことが決まることになると思う。

狛江市

講師候補：駒澤大学の萩原建次郎さん（未依頼のため変更の可能性あり）

内容：公民館における居場所について。公民館に限定せずそもそも居場所とはなん
だろう、居場所の役割について考え、公民館の居場所について再考していくような
内容にしたいがまだどうなるかわからない。

職員部会

講師候補：岩松真紀さん

内容：事例発表者に関して3つの案がある。①他市の職員でユニークな、新しい取
り組みをしている人。この発表者は加盟市に限らず非加盟市の職員も視野に入れて
いる。②障がい者部会、保育部会の職員。最近大会で分科会を持っていないが、定
期的に話し合いを行っているので、その中で何か面白い取り組みを紹介してもらお
うと考えている。③公民館の中に限らず、ほかの施設とコラボして何かを行っている
ような取り組みがあれば取り上げたい。またほかの社会教育施設での事例でもよ
いと考えている。できるだけこの3つを含んだ事例発表者を探したい。これからの
時代に合った取り組み・実践例を話していただきそれを基にグループワーク、講評
を行う予定。

〈第1、第2課題別集会の担当の振り分けについて〉

特に取り決めがないようなので、狛江が第1、東大和が第2で決定とする。

(4) スケジュールについて

〈今後の流れ〉

～9/3 各分科会の途中経過の報告

9/4 第4回会議

10/18 各分科会の開催内容の決定、報告期限
11 月中 開催要項を各市へ配布、参加者の募集
12 月中旬 募集締め切り
※途中経過記入の資料は会議後にメールで送る。

(5) 課題別集会活動費等について

〈活動費について〉

分科会の中で使う消耗品や講師の方のお弁当代などに使う費用として次回 15,000 円を配る予定。これは講師謝礼とは別。最後に精算をするため使った際は領収書をもってほしい。

事務局が会議後に書類をメールで送るので、東大和市と狛江市は館長の印鑑、委員部会と職員部会は部会長個人の印鑑をそれぞれ押して次回持参する。

〈謝礼について〉

事例報告者に関しては交通費込みで 5000 円に決定。謝礼は、当日現金で手渡し、領収書に印鑑を押しもらう。(助言者は 20,000 円)

助言者と事例報告者の弁当代をどこから出すのかは確認してメールで報告。

〈当日のスケジュールについて〉

9 時～ 受付開始
9 時半～11 時 全体会
11 時～12 時半 休憩
12 時半～ 分科会

前半が伸びてもいいように休憩時間を 1 時間半取っている。分科会は早く終わってしまったらそのまま流れ解散でよい。次回の会議で全体のスケジュールなどを提示する。

〈分科会の講師への依頼文について〉

誰の名前で出すのか、公印は必要か等事務局で確認しメールで報告。

次回 第 4 回企画委員会

9 月 4 日 (水) 午後 2 時～

昭島市公民館 第 2 会議室